



高口光子さん

高口光子さんによる「介護現場、それぞれの役割を知るセミナー」がこのほど、当センターにて開催されました。

セミナーには、特養や老健、部下の「やりたいこと」と「今

高口光子さんによる「介護スなど介護施設の管理者や主

任を担当する方など六十名が参加。介護現場のリーダーは

できることが、そして「組織が求めるもの」をしっかりと把握すること。また、施設長や理事などの経営トップと現場

との間で、部下のやる気を引

き出しながら、組織のトップ

を動かす説得力を身につける

ことなど、高口さんの人づくり、組織づくりの極意につい

て耳を傾けました。

高口さんのトーキに耳を傾

ける受講者のみなさん。

人づくり、組織づくりの極意

高口光子さんのセミナーに六十人が参加

グループホームが寿司屋に変身

マグロの赤身に中トロ、ヒラメにサーモン



フロアーに設けた
カウンターで、お
寿司を握る永井さ
ん。



グループホーム響でおでかけ

向ヶ丘遊園のバラ園

板前さんが目の前で握るお寿司に舌鼓・・・。グループホーム響でこのほど、本格的な握り寿司パーティを開催、入居者の方々は、マグロの中トロやヒラメにサーモン、イクラなど、目の前で握るお寿司に「おいしい一日」を過ごしました。

お寿司に「おいしい」



元寿司職人の永井彰さんが出張ボランティア



永井彰さん

ひびき通信

平成25年版
6月

この日の「板さん」を担当したのは、永井彰さん（三七）。現在は相模原のデ

イサービスで施設長を務めています。

介護職となつて十年のキャリアを持つ永井さんですが、以前は都内の寿司店で板前として七年ほど修行を重ね、寿司職人として働いてきた異色の経歴の持ち主です。

今回、ボランティア板前を買って出たきっかけは、デイサービス職員が知り合いだったことが始まり。その職員

満開のバラに笑顔も満開に。グループホーム響でこのほど向ヶ丘遊園のバラ園を訪れました。入居のお年寄りたちは、赤や黄色や白、ピンクなど、色とりどりのバラが咲く園内を思い思いに散策。バラの花と香りを満喫したあとは、アイスクリームを食べて思わずニッコリ。やっぱり花より団子が大好きな面々でした。

色とりどりのバラの花と香りを満喫



介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響 居宅介護支援事業所響
グループホーム響 宅老所「ほっと生田」

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2013年6月1日 発行者：岸忠宏
発行所：日本ケア創造株式会社 住所：川崎市多摩区栗谷4-6-13

が橋渡し役となり、握り寿司パーティが実現しました。

パーティ当日は、板前さんのかぶる白い帽子に割烹着姿で永井さんが登場。マグロの赤身に中トロ、サーモン、ヒラメ、イクラ、甘エビなど、新鮮なネタを次々に握ると、入居者たちは大喜び。中には感激で泣き出してしまった方々も。少食気味の方もこの日は「おいしいね」と十かん以上を平らげるなど、大満足の一日となりました。